

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年12月25日(2014.12.25)

【公表番号】特表2014-504284(P2014-504284A)

【公表日】平成26年2月20日(2014.2.20)

【年通号数】公開・登録公報2014-009

【出願番号】特願2013-542386(P2013-542386)

【国際特許分類】

C 0 7 F 7/08 (2006.01)

C 0 7 F 7/12 (2006.01)

H 0 1 L 51/05 (2006.01)

H 0 1 L 51/30 (2006.01)

H 0 1 L 51/40 (2006.01)

H 0 1 L 29/786 (2006.01)

【F I】

C 0 7 F 7/08 C S P W

C 0 7 F 7/12 D

H 0 1 L 29/28 1 0 0 A

H 0 1 L 29/28 2 5 0 H

H 0 1 L 29/28 3 1 0 J

H 0 1 L 29/78 6 1 8 B

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月7日(2014.11.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項7】

架橋した対R<sup>1</sup>およびR<sup>2</sup>、R<sup>2</sup>およびR<sup>3</sup>、R<sup>3</sup>およびR<sup>4</sup>、R<sup>5</sup>およびR<sup>6</sup>、R<sup>6</sup>およびR<sup>7</sup>、R<sup>7</sup>およびR<sup>8</sup>によって形成した前記環が、5～25個の環原子を有し、単環式もしくは多環式であり、かつまた互いに単結合によって結合しているか、または2つもしくは3つ以上の縮合環を含む、2つまたは3つ以上の個々の環を含んでもよく、かつここで各環が、非置換であるか、または請求項1において定義した1つもしくは2つ以上の基Lで置換されている、芳香族およびヘテロ芳香族基からなる群から選択されることを特徴とする、請求項1～6のいずれか一項に記載の化合物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

好ましくは、架橋した対R<sup>1</sup>およびR<sup>2</sup>、R<sup>2</sup>およびR<sup>3</sup>、R<sup>3</sup>およびR<sup>4</sup>、R<sup>5</sup>およびR<sup>6</sup>、R<sup>6</sup>およびR<sup>7</sup>、R<sup>7</sup>およびR<sup>8</sup>によって形成した前記C<sub>4</sub>～C<sub>40</sub>飽和または不飽和環は、5～25個の環原子を有し、単環式もしくは多環式であり、すなわちまた互いに単結合によって結合しているか、または2つもしくは3つ以上の縮合環を含む、2つまたは3つ以上の個々の環を含んでもよい、芳香族およびヘテロ芳香族基からなる群から選択され、かつここで各環は、非置換であるか、または上に定義した1つもしくは2

つ以上の基 L で置換されている。